



APRIL 21–25, 2018 - SAN DIEGO, CALIFORNIA
EXPERIMENTAL BIOLOGY 2018

Experimental Biology 2018 in San Diego 参加報告書

生命環境科学系 博士課程 2年 小谷 鷹哉(石井直方研究室)

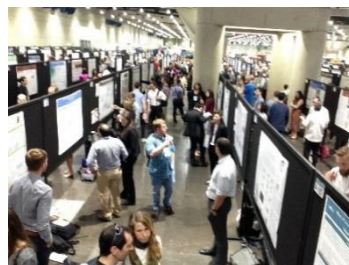
「修士・博士課程学生のための国際研究助成」を受け、Experimental Biology 2018 in San Diego (EB2018)に参加してきました。この国際学会は、解剖学や生理学、生化学や生物学など様々な分野の研究者が世界中から集い議論することで、新たなアイデアや発見などに繋げることを目的としている。開催期間は平成30年4月21日から4月25日までの5日間でした。EB2018では5000件を超える発表が行われ、65か国以上の研究者が参加しました。

私は4月24日に Muscle Atrophy and Hypertrophy というセッションにおいて「Muscle protein synthesis during the early period of resistance training in rat」という題でポスター発表を行いました。発表内容はレジスタンストレーニングを繰り返し行くと骨格筋肥大に重要となる筋タンパク質合成はどうか変化するかを明らかにするために行った実験です。ポスター発表時間は2時間設けられ、会場にはレジスタンストレーニングや筋肥大について研究を行っている研究者の方が多く居ました。特に、筋タンパク質合成に関わる因子の研究の第一人者である方と今後の共同研究などに誘っていただけたことが、最も興奮し参加してよかったと思いました。また、多くの最先端の知見を見聞きすることができ非常に勉強になり、今後の研究の発展に役立つものでした。今回の学会参加を通して、現在行っている研究の問題点や、さらなる発展について真剣に考えることができ、研究者として非常に良い機会となりました。今後、この経験を研究や教育に生かしていきたいと思えます。

〈San Diego Convention Center〉



〈会場内の様子〉



〈発表の様子〉

